

第4回石田縞
アイデア小物コンテスト

作品集



石田縞について

汗を吸い、丈夫で保温にも適している木綿を使い、縦に筋を入れた縞織物は、南蛮貿易で注目され「唐縞」などと呼ばれ江戸時代では最新の織物でした。

文政年間に鯖江の下石田に住む、高島善左衛門は貧しい村人を救うために美濃で、この縞織物を習い織工を招いて工場を建てました。これが人気を博し、副業として近在に広がりました。これが石田縞の始まりです。

石田縞は衣服、野良着、布団地などに愛用されていました。明治33年(1900)には生産高3万反にまで達するほど織られました。

明治39年に福井女子師範学校女子部が石田縞の袴を制服に採用したのを皮切りに、福井県下の女学校や小学校の制服に指定されて、ひろく愛用されていたのです。ボタン機などの普及で生産高も大正10年には27万反に及びます。




しかし大正時代に動力で動く力織機によってさまざまな布が大量に織られるようになると、学校制服がセーラー服へと変わり石田縞は急速に衰退していきます。

石田縞はほとんど織られなくなり幻の織物と呼ばれていましたが、数人の作家によって復元されたことで復活の機運が高まり、石田縞手織りセンターが繊維協会によって誕生するほどとなりました。ここでは昔ながらの草木染め、手織り機で実際に織る体験が出来るようになり、石田縞は郷土工芸品の指定もいただきました。地元の繊維産業のシンボルとして、石田縞は愛されています。

石田縞アイデア小物コンテスト

草木染めの木綿糸を手織りした石田縞。その美しさと魅力を発信するため、石田縞を使ったアイデア小物を募集します。優れた応募作品には、素敵な副賞を用意しています。

「石田縞を使った商品にあったらいいな。」と思うアイデア小物造りに奮って挑戦し、どんどん応募してください。

- 内 容 「石田縞を使った商品にあったらいいな。」と思うアイデア小物を募集するコンテスト
- 対 象 高校生以上
- 参加要件
 - ・石田縞をメインにアイデア小物を製作してください。
 - ・参加者が自ら製作し、未発表のものに限ります。
- 申込期間 令和2年12月1日(火)～令和3年1月29日(金)
- 作品展示
 - 期間：令和3年3月12日(金)～3月14日(日)
 - 会場：鯖江市まなべの館
- 後 援 鯖江市、鯖江商工会議所、鯖江観光協会、福井新聞社、 FBC、 福井テレビ、 丹南ケーブルテレビ

○審査員名簿

審査員長	仁愛女子短期大学生活科学学科准教授	前田 博子
審査員	一般社団法人鯖江観光協会専務	青山 英彦
同	鯖江市産業環境部商工政策課長	乙坂 薫
同	石田縞保存会	久嶋 英子
同	石田縞保存会	吉村 和枝
同	協同組合鯖江市繊維協会理事長	野尻 利雄

石田縞アイデア小物コンテスト審査員長講評

この度は25名の方から31点の作品をご応募頂き、ありがとうございます。

未曾有の時代に突入し、マスクやマスクケースなど、今日的に欠かせないアイテムが多く出品されており、コロナ時代を実感しました。簡単に外出できなくなったからこそ、家の中で針仕事が増えた方も多いのではないのでしょうか。最優秀賞作品の《リバーシブル半天》は秀でて完成度が高かったと思います。優秀賞作品は日用品としてのアイデアが多く、普段から手芸品を愛用している姿が思い浮かびました。受賞作品には選ばれなかったのですが《きもの半襟》は端切れの使い方が秀逸であり、商品価値の可能性を感じました。

いかなる困難な時期であっても私たちはより良い暮らしを求めて思索し、創造し続けなければなりません。みなさまの手芸活動が石田縞や地域産業を支えていることに感謝申し上げます。

引き続きみなさまへは、石田縞の特性（縞の柄、布の風合い）を生かしたものづくりを期待いたします。

審査員長 仁愛女子短期大学生活科学学科准教授 前田 博子

最優秀賞



塔尾富美子

リバーシブル半天
スマホ入れ付、男女兼用



石田縞布で市松模様をあしらって、スマホ入れを付けました。石田縞でオリジナル模様を付けてワンポイントにしました。リバーシブル反対側には、ジーンズのズボンとジャンバースカートをつなぎ合わせました。ポケットが6ヶあります。石田縞布をアクセントにリズム感ある仕上がりになりました。



優秀賞



手賀 和美

お買い物♡♡



齋藤 幸子

正座おたすけ椅子



宮永 暁代

ミニトランク小物入れ&
ドール服



牧野 京美

マスクケース

応募作品



田中 恵子

マスク&マスクケース



黒田 淑乃

お散歩ポシェット



小泉 めぐみ

ティッシュケース



山本 壽美子

マスク・マスクケース



佐々田早智子

ポケットいっぱい
トートバッグ

応募作品



山本 栄子

スマホ入れ
ポーチのスマホ入れ



→ 塔尾 富美子
→ きもの半襟



→ 塔尾 富美子
→ 食事用マスク
(ワイヤー入り)



→ 武藤 博子
→ ブックカバー



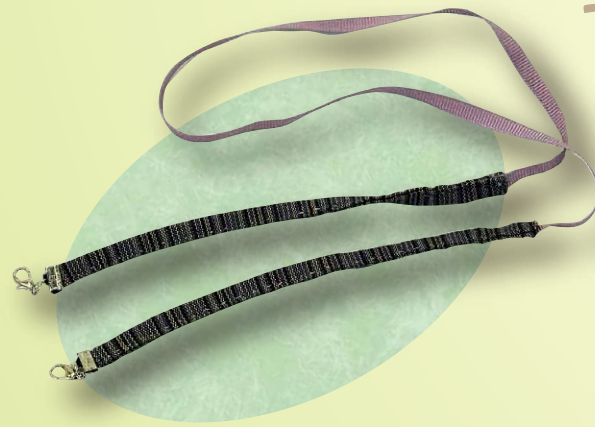
→ 宮本 弘美
→ 着物コーデ巾着



→ 芝 美貴
→ マスクケース



→ 長沢 孝子
→ お出かけポーチ○△□



→ 芝 美貴
→ マスクストラップ



→ 谷川 宣子
→ なんでもバック



→ 長沢 澄雄
→ 豆本入れ+糸巻き車



→ 坂井 悦子
→ マスクカバー



坂井 悦子

絵(?)葉書



佐野 弘美

ストール



高森 梨恵

リップケース



牧野 久美

石田織おしゃれ小物



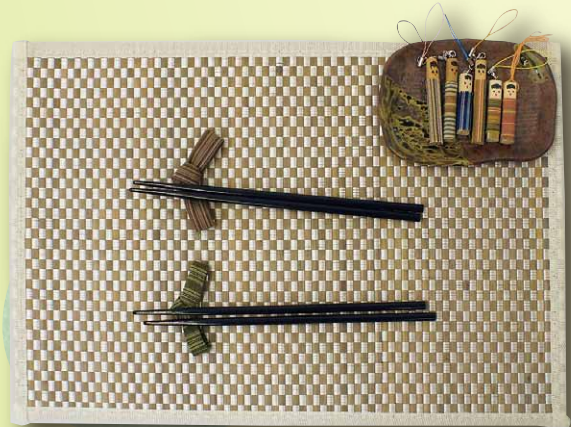
中尾 俊一

ピンクッション



品川 裕子

2WAYベビースタイ



牧野 京美

箸置き



牧野 京美

携帯ケース



牧野 有里子

石田織パーティバック



牧野 杏美

石田織マスクカバー



堀みどり



坂井悦子



吉村和枝



久嶋英子



吉田ゆき子



渡辺洋子



伊藤順子



榎本富枝



牧野京美



原節子

石田縞保存会会員による

石田縞エプロン

懐かしいフォルムに現代のセンスを加えて、
手織り、デザインしました。

石田縞保存会 作品集



作・吉村 和枝



鯖江市繊維協会